

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第171号



2021年1月16日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



## 拡大幹事学習会講義① ジェンダー平等について

### かがみ田苑労組結成・横三労連に加盟！

横須賀市の外郭団体『横須賀市社会福祉事業団』は、高齢者支援 事業や障がい者支援事業（かがみ田苑）を展開しています。何期も連続して指定管理を請け負っていることに甘んじ、赤字事業を平然と引き受け、発生した赤字の補填は一時金の削減で賄ったり、決められている人員配置も守らないといった行為が続けられてきました。

職員が何度も意見を出してきましたが、関わった職員

異動がほめかされたり、要望の受け取りを拒否する態度を示してきました。『現場職員の声を聞いてほしい』『話し合いのできる関係と環境を作りたい』と相談が寄せられ、県医労連・横三労連が協議し、労働者の地位と権利を守るため、1/14に、組合結成に至りました。

組合員数は6人。執行委員長は岩永敏和さんです。今後は拡大をすすめながら、団体交渉を行う予定です。

ジェンダーとは、おもに社会的性差別をいいます。「男性はこうあるべき」「女性はこうするべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担のことをいいます。近年、ジェンダーという言葉が広まり、「男だから」「女だから」と決めつけることで、男女の間に偏見や差別、不平等が生まれていると広く知られるようになりました。ジェンダー平等とは、男性も、女性も、多様な性をもつ人々も、差別なく平等に、尊厳をもち、おのずからの力を存分に発揮できる様になる社会をめざすことです。性別に関係なく自分らしくいられる社会を自分たちでつくっていくことです。年末に決定される男女雇用機会均等法への意見や要望には、「正規、非正規の格差の是正」「女性への暴力の根絶」「女性が多い職種の低賃金の改善」など、ジェンダー平等への声が上がっています。

藤枝千鶴子



### 団結ガンバロー！

### かがみ田苑で、団体交渉！

組合結成に先立つ12/23、かがみ田苑で県医労連個人加盟労組（田中隆雄委員長）の団体交渉が行われました。当局は、参加者を3人に制限したり、岩永氏の問題提起を、「そんなのは施設内で調整しろ」と言い、「それは施設長に言うべきではないか」との指摘もはぐらかしましたが、理詰め交渉で間違いを認め、謝罪。また、赤字を理由に一時金を切り下げる制度をやめることを明言するなど、一度目の交渉にしては、実りある交渉となりました。